注文の多い料理店

原作：宮沢賢治（1924年） やさしい日本語：Nori

前半 Part 1

二人の若い男の人が、山へ狩りに来ました。二人とも東京のお金持ちで、新しい鉄砲を持って、大きい白い犬を二匹連れていました。

でも、山の中をいくら歩いても、鳥も動物もいません。

「つまらないなあ。早く何かうちたいよ。」

そのうちに、道を案内してくれた猟師が、どこかへ行ってしまいました。それから、二匹の犬も目を回して、倒れてしまいました。

「この犬は高かったのに。大損だ。」

一人は、犬のことより、お金のことを心配していました。

風がどうっと吹いて、木の葉がかさかさ鳴りました。二人はおなかがすいて、もう帰りたくなりました。でも、帰る道がわかりません。そのとき、うしろに立派な西洋風の家が見えました。

RESTAURANT
西洋料理店
WILDCAT HOUSE
山猫軒

「ちょうどいい。何か食べよう。」

ドアには、こう書いてありました。

どなたもどうぞお入りください。えんりょはいりません。

二人はよろこんで中に入りました。すると、次のドアに金色の字で、こう書いてありました。

とくに太った方や若い方は、大かんげいします。

「ぼくたちは両方だね。」二人はもっとよろこびました。

次のドアには、こう書いてありました。

当店は注文の多い料理店です。どうかご了承ください。

「注文が多いのは、人気があるからだろう。」

後半 Part 2

でも、ドアはまだまだ続きました。

> かみをきれいにして、くつのどろを落としてください。
> 鉄砲はここに置いてください。
> ぼうしとコートとくつをぬいでください。

「えらい人が来ているのかな。」

> めがね、さいふ、そのほかの金物、とくにとがった物は、みんなここに置いてください。

「料理に電気を使うから、金物はあぶないんだろう。」

> つぼの中のクリームを、顔や手や足によくぬってください。

「外は寒いから、はだを守るためだね。」

二人はクリームをぬりました。一人は、こっそり少し食べてしまいました。

> 料理はもうすぐできます。早く頭に、びんの中の香水をかけてください。

でも、その香水は、なんだかお酢のようなにおいがしました。最後のドアには、こう書いてありました。

> 注文が多くて、すみませんでした。もうこれだけです。体中に、つぼの中の塩をよくもみこんでください。

二人は顔を見合わせました。

「おかしいよ。注文が多いっていうのは、ぼくたちが注文するんじゃなくて……」

「ぼくたちが食べられるんだ!」

二人はがたがたふるえて、声も出ません。うしろのドアは開きません。前のドアのかぎあなから、青い目が二つ、こちらを見ています。

「いらっしゃい、いらっしゃい。サラダがおきらいなら、フライにしてあげましょうか。」

二人はあまりこわくて、泣いてしまいました。顔は紙くずのように、くしゃくしゃになりました。

そのとき、「ワン!」と声がして、あの白い犬が二匹、ドアをやぶって入ってきました。犬は元気になっていたのです。部屋は真っ暗になって、家はけむりのように消えてしまいました。

気がつくと、二人は草の上に立っていました。コートやくつやさいふは、木の枝にかかっていました。そこへ猟師がもどってきました。二人は鳥を買って、東京へ帰りました。

でも、紙くずのようになった二人の顔は、東京に帰っても、おふろに入っても、もう元にもどりませんでした。

Words

狩り	hunting	猟師	hunter (the guide)
目を回す	to get dizzy, faint	大損	a big loss (of money)
西洋風	Western-style	大かんげい	very welcome
注文	① an order (food) ② a request	ご了承ください	please understand
金物	metal things	とがった物	sharp things
香水／お酢	perfume / vinegar	もみこむ	to rub in
かぎあな	keyhole	紙くず／くしゃくしゃ	scrap paper / crumpled

1. 質問に答えましょう

Part 1

1) 二人は何をしに山へ来ましたか。

2) 犬が倒れたとき、一人は何を心配していましたか。

3) 「太った方や若い方は大かんげい」を読んで、二人はどう思いましたか。

Part 2

4) 金物を置くのはどうしてだと、二人は思いましたか。

5) 最後のドアには、何をするように書いてありましたか。

6) 「注文の多い」の「注文」は、だれがだれにする注文でしたか。

7) 東京に帰ったあと、二人の顔はどうなりましたか。

2. 話しましょう

1. あなたなら、どのドアで「おかしい」と気がつきますか。
2. 犬が倒れたとき、お金のことを心配した二人を、どう思いますか。
3. どうして二人の顔は、元にもどらなかったと思いますか。
4. レストランで「注文が多いな」と思ったことがありますか。

Answers

1) 狩りをしに来ました。

2) 犬のことより、お金のこと（犬が高かったこと）を心配していました。

3) 「ぼくたちは両方だ」と思って、もっとよろこびました。

4) 料理に電気を使うから、金物はあぶないと思いました。

5) 体中に塩をよくもみこむように書いてありました。

6) お店（山猫）が、お客さん（二人）にする注文でした。

7) 紙くずのようにくしゃくしゃになったまま、元にもどりませんでした。

Grammar in the story

～てありました（書いてありました）／ ～てしまう ／ ～ように書いてある ／ ～のに ／ ～だろう ／ ～のかな ／ 受身（食べられる）／ ～てあげましょうか ／ ～ても、～ても ／ ～ように（紙くずのように）

The trick: 注文

The two men think「注文の多い」means "many customers order here" (popular!).

But it really means "this restaurant gives you many requests" — because you are the food.